

第90回 令和7年9月25日（木）

「先を考える人と今を楽しむ人。」

「アリとキリギリス」というお話を知っている人は多いと思います。

働き者のアリは夏の間食料をため、今を楽しむキリギリスは夏を謳歌して結局冬にお腹を空かせて死んでしまうというお話です。

これはどちらが良いというお話ではないと思っています。もしアリさんが冬を越せず寿命が1年だとしたら、人生一番楽しい時期に働き続けることはどうなのか、わからなくなります。

私は究極のアリさんタイプです。明日仕事があるとき、前夜の食事など楽しむことはできません。常に先のことばかり考えてしまします。不安になって準備をたくさんします。小学校の宿題は7月中に終わらせるタイプでした。

一方でここは助かっていると思うのは「過去」にこだわることはあまりありません。というより昔のことはすぐに忘れるので、過去へのこだわりや後悔もほとんどありません。
自慢話をしないのではなく、覚えていないからできないのです。

いま、身体が動くうちに人生を楽しまないというのはどうなのでしょうか。後先考えず好きなことをする人生にはあこがれます。歴史に名を残す人はこちらのタイプが多いかもしれません。「太く短く」は幕末の志士のようです。

1匹のアリさんで人生を終わるとしても、キリギリスとして人生を謳歌して終わるとしても、大切なのは終わりの時に満足することかなと思います。私はアリさん人生を悪くないと感じています。

最後に一つ、地球環境とか食料問題など次世代に引き継がなくてはいけない課題があります。これについての答えは一つ。キリギリスは絶対にいけません。

「100年後など知らないよ、今が良ければいい。自分が生きていなき先の時代は考える必要がない。」このような考え方は100年後の人類に迷惑をかけることになります。

キリギリスはアリさんに迷惑をかけてはいけないと思います。自分の人生を選択するときに、他人に迷惑をかけるような行為はルール違反だと思います。

「地球温暖化」はないと言っている人がいます。根拠があるのだと思いますが、未来に迷惑をかけるようなことにならなければいいなと少し不安に思います。